

ご住職に

き

た

き

い



令和3年新年特別インタビュー

皆様 新年明けましておめでとうございます。令和3年新年特別号として今回、住職に昨年の事、また、今年の事をどんどん聞いていこうと思います。(このインタビューは、令和2年12月に行われたものです)

記者 (以下 記)

ご住職。明けましておめでとうございます。今年も宜しく願いいたします。さて、昨年は本光寺だけではなく、日本中、世界中に多大なる影響をもたらした「新型コロナウイルス」の件で終わった一年であったと言っても過言ではないと思います。本光寺では、いち早く新型コロナ対策を行っていましたが、昨年を振り返って、まず一言お願いいたします。

住職 (以下 住)

皆様、新年あけましておめでとうございます。先程記者さんも言っていましたが、確かに昨年は新型コロナウイルスに対して全世界の方々が不安を持ちながら生活をしていたと思います。その中で、私はまず、このような大変な時に、私達を守って頂いている医療従事者及びその関係者の皆様に感謝の気持ちをあらためてお伝えしたいと思います。ありがとうございます。

さて、新型コロナウイルスは、私達の生活や概念を大幅に変えてしまいました。緊急事態宣言や外出自粛、マスクの欠乏、経済の停滞などなど...その中で、本光寺では、新型コロナウイルス対策として、すでに皆様ご承知の通り、マスクの着用の徹底(参拝者及び寺務員各位)などホームページでご紹介している通りの対策をさせて頂きました。私個人としても、来客は一時全てお断りし、電話・メール等で行い(支障は出ましたが致し方ありません)夏の法事なども無参拝者法要という選択肢もご提案させて頂きました。

大祭等の開催も御焼香参拝という新しい形で自粛し、本光寺に参拝して頂いた皆様にも不自由をお掛けした所もあったかと思えます。申し訳ございませんが、ご理解の程よろしく願いいたします。その中で、ライブ配信や遠隔供養など参拝できない方々への対応も行っていました。これは本光寺としての新しい取り組みであり、新型コロナウイルス対策の一環でもありました。

記：さて、今年はどういうことをやっていくつもりでしょうか。朝参り会の時、住職は世界の経済の復興や疫病(新型コロナウイルス)の退散等を唱えておりました。その中であえて今年の方針をお聞きしたいと思います。

住：そうですね。今年は昨年できなかった例年の大祭を全て復活させていきたいと思えます。これは、代々行われてきた祭事であり、皆様と本光寺とのつながりを持つ最たるものだからです。ただし、新型コロナウイルス対策に万全を期し、皆様の感染リスクを避ける対策を施した上での開催をしたいと思えます。

ライブ配信も続けていきたいと思えます。遠方の方々や新型コロナウイルスでご家庭から外出を控えている方々にライブ配信によって本光寺にご参拝いただくことになれば、お気持ちも伝わると思えます。昔は、今ほど情報もないし医療も発達していませんでしたが、そんな時に心の支えになったのが仏神であったのです。ライブ配信でもご参拝と同じ気持ちになって頂き、皆様の心の拠り所になって頂ければ幸いです。当然ですが、ライブ配信中はプライバシーに最善の注意をはかり、個人情報を読み上げたりする場合は音声をカットしています。

「温故知新」という言葉があります。本光寺の「慈愛の塔」は23世日理上人が、幕末の地震や疫病が頻繁に起こったことに対し鎮魂のために建立したものです。新しいものを建立するのではなく、本光寺として今できることを最大限に皆様にお伝えすること、形だけでなく心をお伝えすることが今年の方針でもあります。

記：ありがとうございました。はひふへ本光寺も前号から「木魚のぼっくん」や「ぴかりん住職」が参加してより楽しく分かり易くなったと思えます。最後に一言お願いいたします。

住：皆様の健康をお祈りするとともに、一日も早く新型コロナウイルスが終息することを心より願っております。今年も精進してまいりますので、よろしく願いいたします。

「笑って帰れる お寺」この方針は私の生涯の目標です。

合掌

はひふへ
本光寺
ほんこうじ

第21号

令和3年1月発行

西暦	2021
仏暦	2564
祖暦	799
皇暦	2681

尾藤住職より
「はひふへ本光寺」も第二十一号を迎えることができました。今回は恒例のカラーページで、より皆様に分かり易く見て頂くことを心掛けました。裏面には今年の運勢を初めて掲載してみましたので、ご参考にしてください。運勢は自分が切り開くものです。本光寺の仏神のご加護が皆様にありますよう毎日祈っております。



1/1 (金)

皆さん、明けましておめでとうございます。本光寺にいる「木魚のぼっくん」です。今年もよろしくお祈りします。

さて、今年も、「ぴかりん住職」と共に、「はひふへ本光寺」を盛り上げていきたいと思っております。まず、ご住職から、ご挨拶など・・・

ご住職さまあああああ



皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中はありがとうございました。本年もよろしくお祈りいたします。

昨年を振り返れば、新型コロナの影響が日本各地だけでなく、全世界までも多大な影響をもたらし、本光寺でも、いち早くコロナ対策を実施してきました。また、ご祈禱、ご供養も三密を避け、イベントなども自粛してまいりました。本年は、コロナ対策を万全にした上で、本光寺が例年している大祭等を行ってまいりたいと思っておりますので、皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

今年は、大祭などが行われるのですね。楽しみだな。

ところで、ぴかりん住職に質問です。僕のお友達の「しんくん」のお父さんが、この間、本光寺の朝参りに参加したんです。その時、今、本光寺の朝参り会は、ライブ配信されて全国の皆さまがご覧いただけるようになっていたのでビックリしたと言っていました。何故、ライブ配信しているのですか？



コロナの影響で、遠方の方が家から出ることができないからご供養やご祈禱、朝参りができないという声がたくさん私の耳に入ってきたんだ。その気持ちをかなえることができないかなと思って朝参り会のライブ配信に挑戦したんだよ。

本光寺もコロナ対策の強化を考えていたので、皆様の声と合致したのかなと思います。

「しんくん」のお父さんが参加して、焼香の時、ぴかりん住職は何かわからない動作をしていたみたいだけど・・・正座してお祈りしてお辞儀して両手の手のひらを上にして少し上げていた。それを三回していたと言っていたけど何か意味があるんですか？



あれは、お釈迦様に対しての所作（振舞い）なんだよ。少し難しい話になるんだけど、仏教の開祖（教えを始めた人）はお釈迦様だという事は知っているよね。

本光寺でも本堂の上段に二人の如来（仏教の悟りを開いた聖人）がいらっしやるのだけど、向かって左側の如来が釈迦如来で右が多宝如来なんだ。お二人の事は、後日説明するけど、お釈迦様（釈迦如来）に対して、まずは畏敬の念をこめ、お辞儀をさせていただきます。

また、両手の手のひらを上にして掲げる行為は、「私の手の上にお釈迦様の御足をのせ、こちらの世界に降臨してください」という意味合いがあるんだ。

そして最後に同じ動作をして、降臨ありがとうございました、お帰り下さいとお釈迦様にお礼をするんだよ。

そうなんです。

お父さんもわからなかったから、そのままお辞儀を三回しただけで焼香したみたいだよ。それでもいいのかな？



できれば所作は、覚えて頂ければと思うけど。

私の知り合いにも膝を悪くされていて、正座ができず所作ができない方もいます。ご自分に合った所作で焼香をしていただくようにお勧めしているんだ。

他に朝参り会で注意することはありますか？



朝参りは事前にご連絡を頂ければと思います。所用で在席していないときもあり、ご案内できない場合もあるので、事前にネット予約をしてから来ていただければと思います。
あと数珠を付けてほしいですね。朝参り会は本光寺も当日行う最初の行事なんだ。私も参加するにあたって身が引き締まる思いで参加しています。だから、参加される方もできれば同じ気持ちになって頂ければありがたいです。かと言って、決して堅苦しいものではなく、どなたでも参加できる朝参り会なので、是非実際に来てもらえればと思うけど・・・

朝 7 時から行うから、それまでに本堂に来てもらえればいいんですね。朝参り会の時にいろんな人の名前などを読み上げていました。あの方々の名前はどなたなのですか？



先ほどもお話ししたと思うけど、新型コロナウイルス蔓延のため、本光寺の来たくても来れない方々がいらっしゃるんだ。また、遠方からも参加したくても参加できない方や供養や祈願等をなされる方もいるんで、朝参り会の時に読み上げさせて頂いています。
でも、ぼっくん、朝参りは形だけではないんだよ。

????



形だけではなく、“こころ”が伴わないとただの自己満足になってしまうでしょ。“こころ”からの供養・祈願をしなければ自分の想いは伝わらない。今、色々な御朱印を集める方もいるけど、スタンプラリーではなく本当に参拝して、その証として御朱印を頂くことが大切です。これも、自分の“こころ”が大切だと思います。本光寺の朝参り会をライブ配信しているのも、皆さんの“こころ”の声を少しでも私がお伝えできればと言う気持ちから始めたので、よく理解してほしいな。
ご先祖を敬う気持ち、家族を大切にすること、ペットと共に健やかに過ごす気持ち、人は様々な気持ちを大切にしなければいけないんだよ。

朝参り会にもぴかりん住職のお気持ちが入っていたんですね。
本光寺の本堂には色々な仏神がいらっしゃるみたいだけど簡単に説明してください。



全てを説明するとかかり時間がかかるので、本堂の正面の一部の仏神を紹介しましょう。
本光寺の本堂の仏神は、日蓮宗の御曼荼羅を具現化して勧請しています。
先ほども説明した、宝塔（南無妙法蓮華経）の左右に釈迦如来と多宝如来。その左右に四士と呼ばれる上行菩薩・無辺行菩薩・浄行菩薩・安立行菩薩の四菩薩、四菩薩の左右に持国天・増長天・広目天・多聞天の四天王、そして文殊菩薩・普賢菩薩の二菩薩、不動明王・愛染明王の二明王が勧請されています。難しい言葉でいうと一塔両尊四士四天王二菩薩二明王という呼び方をされているんだ。
この仏神だけでなく、まだまだたくさんの仏神が勧請されているので、是非参拝してご覧頂ければと思うけど。

まだまだ紹介することがありそうですね。
今年も、「はひふへ本光寺」が楽しみになってきました。今年もよろしく願いいたします。



私も毎日が精進。お寺の垣根を無くしたいと常に思っています。少しでも多くの方が本光寺を知って頂き、参拝して頂ければありがたいです。
ただ、新型コロナウイルスがまだまだ猛威を振るっていますので、本光寺の取り組みをご覧頂き、感染リスクを避けて頂くことをお願いいたします。
今年も、よろしく願いいたします。





九星気学のさがし方

自分の生まれ年を西暦に直します。

その4つの数を合計します。

2つの数を足します。

11からその数を引きます。

例) 1990年 ▶ 1+9+9+0=19

1+9=10

11-10=1白

今年の運勢 (九星気学)

1月1日から2月3日生まれの方は
前の星をご覧ください

一白水星

令和3年は盛運です。

隠し事はせずに正直になると尚良いでしょう。

火難・盗難・訴訟問題が起こりやすいので注意しましょう。

自分の力が発揮できるので目標を絞り積極的に行動に移しましょう。

二黒土星

令和3年は衰運です。現状を守るのが得策でしょう。

健康状態に細心の注意が必要です。

何事も用心深く慎重に行動しましょう。

三碧木星

令和3年は衰運です。無理せず平穏を保ちましょう。

健康面では過労や睡眠不足に注意しましょう。

急がずあせらず現状維持でも良いと思しましょう。

四緑木星

令和3年は盛運です。

斬新なアイデアで堅実に進みましょう。

何事もあせらず慎重に進めることが大切な年です。

新分野への挑戦や準備していた計画を実行することも良いでしょう。

本光寺からのお知らせ

①デジタル化

日本政府は令和3年(2021年)9月にデジタル庁の発足を目指しています。
本光寺では率先して平成26年(2014年)よりデジタル化を推進してきました。
法事のお申込みはホームページからお願いします。

②数珠の着用

本光寺では、令和3年よりご希望の方に(檀家様・参拝の方問わず)本堂にて御本尊を直接ご覧できるようにさせていただきます。
その時には、数珠の着用をお願いいたします。数珠のない方は貸与いたします。
本堂には、御本尊が勧請されているので、皆様の御理解ご協力をお願いいたします。

五黄土星

令和3年は盛運です。

運気があっても物事は慎重に進めましょう。

あまりに強引なことは控えていきましょう。

自信を持って努力することで目標達成が期待できるでしょう。

六白金星

令和3年は衰運です。柔軟な気持ちで過ごしましょう。

健康面で疲労の蓄積に注意が必要です。

平穏無事に過ごせるように努力しましょう。

七赤金星

令和3年は盛運です。運気は良いのですが自重しましょう。

人との和を大切にすることが良いでしょう。

積極的に活動することで予想以上の成果に恵まれるでしょう。

八白土星

令和3年は盛運です。

よく遊びよく働くことを心がけましょう。

貯蓄をしてできる限り節制することが肝要です。

日常生活も向上し金銭上にも余裕ができるでしょう。

九紫火星

令和3年は衰運です。

石橋をたたいて渡るような慎重さが必要です。

体調の変化に要注意の年です。慎重に行動しましょう。

変化を受け入れ、新しい活躍の場を探してみましょう。

寺務員のひとり言

▶根本

本光寺は、多くの仏様を祀っており、お札・お守りは100体余りに及びます。
(HPのお守り通販で全てご紹介)

▶松本

いつもご参詣ありがとうございます。私たち寺務員で撮影している動画(お守り、供養、祈祷のご紹介。本光寺のご案内。お知らせなど)を、各SNS・youtubeチャンネルに投稿しています。ご覧になっていただけると嬉しいです。

▶佐々木

私はお数珠を毎日カバンに入れて持っています。仏壇に入れっぱなしではなく、お守りとして普段から身につけてみてはいかがでしょう？